乗法,除法(2)

除法(わり算)の計算方法

- ・同符号の2数の商:絶対値の商に、正の符号をつける。
- ・ 異符号の 2 数の商: 絶対値の商に、 負の符号をつける。

除法と逆数

除法は、わる数を逆数になおすと、乗法として計算することができる。

例)
$$(+9) \div \left(+\frac{3}{2}\right) = (+9) \times \left(+\frac{2}{3}\right) = +6$$

乗法と除法が混じった式

乗法と除法が混じった式は、乗法だけの式になおしてから計算する。

【1】次の計算をしなさい。

$$(1) (+48) \div (+8) = +(48 \div 8)$$

$$= +6$$

$$(3)(+27) \div (-9) = -(27 \div 9)$$

$$= -3$$

$$(5) (-121) \div (-11) = +(121 \div 11)$$

$$= +11$$

$$(2)(-56) \div (+7) = -(56 \div 7)$$

$$= -8$$

$$(4)(-24) \div (-3) = +(24 \div 3)$$

$$= +8$$

$$(6) 0 \div (-8) = 0$$

【2】次の計算をしなさい。

(1)
$$(+12) \div \left(-\frac{2}{3}\right) = -\left(12 \times \frac{3}{2}\right)$$

$$= -18$$

$$(3)\left(+\frac{9}{7}\right) \div (-6) = -\left(\frac{9}{7} \times \frac{1}{6}\right)$$

$$=-\frac{3}{14}$$

(2)
$$\left(-\frac{7}{4}\right) \div 14 = -\left(\frac{7}{4} \times \frac{1}{14}\right)$$

$$=-\frac{1}{8}$$

$$(4) 9 \div \left(-\frac{3}{4}\right) \times \left(-\frac{1}{8}\right) = + \left(9 \times \frac{4}{3} \times \frac{1}{8}\right)$$

$$=+\frac{3}{2}$$